

## 幹事報告

Secretary

第32回 通算1612回

国際ロータリー2680地区 ガバナー事務所より  
4月のロータリーレート：1ドル102円との連絡あり

2014年度地区研修 協議会の案内（※再度の案内）

4月29日(火・祝) 9:00～登録開始 於：神戸ポートピアホテル  
午前：本会議 午後：分科会 10:00～17:00「昼食あり」  
登録料100,000(1部門1名10,000×10名)

出席義務者 2014～2015年度 会長 幹事 クラブ奉仕 増強・拡大 職業奉仕  
社会奉仕 国際奉仕 青少年奉仕 ロータリー財団 米山奨学の各委員長  
社会奉仕委員会アンケートの協力依頼が来ていますので、よろしくお願ひします。



※近隣ロータリークラブにつきましては、「近隣クラブINFORMATION」をご覧ください。

## ニコニコ報告

Donation



アートサロン 内垣様

例会の貴重なお時間を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

庄司 武

3月15日(土)大相撲観戦家族例会に行ってきました。東4列目A拵席というたいへん良い席を手配していただき、間近で相撲のダイゴ味を満喫してまいりました。親睦委員会の皆様ありがとうございました。体調の悪かった妙義龍も何とか勝ち越しました。来場所に期待しましょう。

3月30日(日)はゴルフ同好会の6回目のコンペです。加古川GCでお会いしましょう。

志方 正昭

大相撲観戦で、親睦委員会の皆様には、大変お世話になりました。妙義龍が白星で良かった！

鹿間 行雄

25年の連続出席の記念品をいただきまして、ありがとうございます。

佐野 栄作

本日卓話をさせていただきます。

竹原 俊三

伊藤さん、西中さん、次女がお世話になりました。ありがとうございました。

北田 伸一

本日はお弁当させていただきます。

増田耕太郎・柿木 國夫・西田 光衛  
坂口 嘉久

花を飾りましょう。

櫻井 宣孝・井野 隆弘

申し訳ございません。早退させていただきます。

## ◆プログラム予定◆

4月2日(水)

クラブ会報委員会担当例会  
早期に不正の芽をつむ矯正のお話

昼食メニュー

幕ノ内

4月9日(水)

花見例会  
高砂コミュニティー  
センター駐車場

昼食メニュー

寿司とオードブル

4月18日(金)

高砂R.C.との合同献血例会  
サンモール高砂 南駐車場  
10:00～15:30受付

4月23日(水)

卓話  
(広報委員会担当)

昼食メニュー

幕ノ内

・昼食メニューは仕入れの都合により変更することがあります。

会長 庄司 武 幹事 岩崎 勇人 クラブ会報委員長 村上 則宏

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500

# 高砂青松

No.34  
2014年4月2日 発行

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



ロータリーを实践し  
みんなに豊かな人生を  
Engage Rotary Change Lives  
2013～2014年度国際ロータリーのテーマ

Rotary Club



## 社会奉仕委員会 担当例会



### 申義堂について

#### 申義堂の歴史



社会奉仕委員会  
佐野 栄作 委員長

江戸時代になると藩政をになう人材の必要が高まったため、藩校の設置が全国で盛んになりました。

高砂でも、姫路藩により「申義堂(しんぎどう)」が設けられました。設立は、文化年間(1804～17)で河合寸翁(かわいすんのう)の意見により、高砂市北本町での開校でした。

高砂の町には、寺子屋とは異なったより高度な学問を望む施設を欲する動きがまずあり、それを受けて、河合寸翁の建議が出されたとみる方が自然です。

申義堂の運営は、藩からの25俵と合わせて町の有志が一定の費用をねん出し、藩は教育や運営には直接的な干渉はなかったようです。

#### 岸本家

申義堂の設立運営に関わった町の有力者としてまず岸本家をあげることができます。しかし、もちろん岸本家単独の意志によるものではなく、町衆が町民子弟の教育施設をつくらうとした時に、岸本家を中心に町の有力者が土地や建物を提供し、資金を出し合ったのでしょう。

岸本家は、印南郡大国村(現：西神吉町大国)から、享保年間(1716～35)に高砂町に進出したことに始まります。

大国村の岸本家の本業は、木綿業を行っており、高砂岸本家も木綿屋(木綿屋)と称し、木綿問屋経営が本業でした。

申義堂は藩校「好古堂(こうこどう)」の支校の一つで、町民の子弟の教育の場でした。

#### 教師陣

美濃部達吉の父・秀芳、本居宣長の子・太平、頼三樹三郎(らいみきさぶろう) 梁川星巖(やながわせいがん)ら

隆盛を誇った「申義堂」でしたが、明治4年(1871)の廃藩置県と共に廃校となり、明治12年に加古川市東神吉町西井ノ口に移築され、光源寺(姫路市)の説教所として使われました。また、その教育的機能は高砂小学校へひきつがれました。

跡地は申義堂の土地は、明治12年、高砂警察署の建設のため立ちのき、さらに高砂町役場となり、現在は高砂地区コミュニティセンターへと変転しました。

戦後は、西井ノ口町内会の倉庫として利用されていましたが、専門家の調査により、その建物が申義堂の遺構であることが分かり、高砂へと移築保存されることになりました。



本誌は、職場や家庭に持ち帰って、皆さんで一緒にお読み下さい

「なぜ、申義堂を西井ノ口村へ移築したか」

長谷川亀次郎が突然登場します。

長谷川亀次郎

- 天保 9年(1838) ……西井ノ口村に生まれる。
- ? 年 ……高砂へ進出。
- 明治 2年(1869) ……調達金・木綿代金を多く修める。
- 明治 3年(1870) ……軍事費を献金。高砂米場の預かり方・取締役に任ぜられる。  
蒸気船安洋丸をつくり、大坂～高砂を航海する。
- 明治 5年(1872) ……高砂南本町に物産会社をつくる。  
姫路と三日月町で鉱石の精錬会社を設立。
- 明治12年(1879) ……申義堂を西井ノ口に移築

亀次郎の妻「うの」は岸本家から嫁いでおり、長谷川家も綿屋でした。

亀次郎の弟新蔵が西井ノ口村の村役をしており、村に説教所をつくりたいとの思いが、立ち退きを迫られた申義堂の移設先に決まったと考えられます。

申義堂は、昭和7・8年頃までは光源寺の説教所として使われていたのですが、戦争中は軍の宿舎となり、戦後は村の倉庫に転用されて、どういう建物であったかも忘れられて、物置同然の荒れた姿になっていました。

それが、平成2年4月に「申義堂」の建物であったことが専門家の調査により、あらためて確認され、平成24年1月高砂へ移築保存されました。

以上 高砂市HPおよび、ひろかず(飯沼 博一)のブログより引用

**申義堂とは**  
江戸時代の文化年間(1804-1818)に、高砂町北本町に創立された学問所です。姫路藩家老河合寸前(1767-1841)の命により、当時、高砂の大年宮であった岸本官兵衛が土地・建物を提供した、町民による町民のための教育機関でした。  
高砂の世民が学んだ郷学として、教育の原点ともいえる施設です。

**申義堂の教育**  
申義堂では、こどもたちが、中国の古典などを教材に、まちの大人たちに教わっていました。  
毎日、早朝から正午まで、元日五節句と毎月5・15・25日の休み以外は、授業がおこなわれていました。

**申義堂ゆかりの人物**  
申義堂教授として、地元高砂の菅野松嶋(1812-1843)や三浦松石(1799-1858)、美濃部秀芳(1841-1904)らが、こどもたちに教えていました。  
美濃部秀芳は、町医者で、憲法学者の美濃部達吉(1873-1948)の実父です。

資料 高砂市教育委員会 申義堂パンフレットより

高砂青松R.C.主催

# 申義堂 寄席 開催致します!

平成26年5月18日(日)

開場 9時30分  
開演 10時00分 ~ 12時00分

出演 大阪歯科大学  
上方落語研究会OB会

※先着30名 定員となり次第バツ

**入場無料**

お申し込み ☎ 079-443-0500  
高砂商工会議所内 高砂青松ロータリークラブ  
主催 高砂青松ロータリークラブ 後援 高砂市・高砂市教育委員会

交通アクセス  
＜お車で＞  
国道2号加古川バイパス加古川西ランプより  
県道43号高砂北条線を南下  
＜電車で＞  
山陽電鉄本線高砂駅下車南へ徒歩10分

近隣クラブINFORMATION Neighbor-club information

クラブ名	変更内容	日時・場所
明石ロータリークラブ	休 会	4月30日(水)、6月25日(水)
姫路南ロータリークラブ	第3回 ほろにが会	4月 7日(月)17:30～ 姫路神社
姫路ロータリークラブ	お花見例会	4月 8日(火)18:30～ 新日鉄住金(株)京見会館
	休 会	4月29日(火)
加古川平成ロータリークラブ	観桜例会	4月 9日(水)→4月13日(日) たつの.赤穂方面
	夜 例 会	4月16日(水)18:00～ 次年度合同委員会
	休 会	4月30日(水)
加古川中央ロータリークラブ	観 桜 会	4月10日(木)→4月6日(日) 淡路方面
	休 会	5月 1日(木)
高砂ロータリークラブ	家族例会 (京都方面)	4月11日(金)→13日(日)
	高砂青松R.C.との 合同献血例会	4月18日(金) サンモール高砂、南駐車場
加古川ロータリークラブ	創立60周年 記念式典	4月22日(火)→26日(土)PM5:00～プラザホテル
	休 会	4月29日(火)、5月6日(火)(祝日)
明石西ロータリークラブ	会員家族花見例会	4月 3日(木) ラヴィマーレ神戸
	休 会	5月 1日(木)

(注) 高砂青松ロータリークラブのホームページにも掲載しています。……ホームページの情報が早く把握できます。

## 会長の時間 President

皆さん今日は、ビジターの皆様ようこそお出でくださいました。ごゆっくりお過ごしください。

ロータリーでは3月を識字率向上月間(Literacy Month)としています。

識字率向上は1986年以来、国際ロータリーの強調事項ですが、1997年7月の会合で理事会は毎年7月を識字率向上月間と決めました。ところが2005年7月の理事会決定で、2006～07年度より7月から3月に移行しました。

これを機会に、わたし達ロータリアンは識字の問題を再認識し、各ロータリー・クラブや地区は識字率向上に関する認識を高め、世界的に非識字を撲滅しようとするロータリアンの努力に対する認識を向上させる絶好の機会です。

ユネスコの推計によれば、世界で15歳以上の8億人の人々が基本的な読み書き能力がなく、女性・女子は世界の非識字人口の64%以上を占めています。この割合は1990年以降ほぼ変わっていません。

読み書き・計算能力が社会に与える恩恵は、議論の余地がありません。識字社会では、内戦も少なく、経済発展もより速やかであるのが一般的です。また、読み書き能力のある人々の方が、地域社会の健康問題について認識しているため、一般的により健康であると言えます。そして女性にとって、読み書きと簡単な計算を行なう能力は、教育的、社会的、経済的機会への扉を開く可能性があります。

辞書の寄贈、学校建設、個人指導者としての奉仕のいずれの形をとるにしろ、ロータリアンは識字率を高める活動を積極的に行っています。

RI理事会は、世界中で識字能力の大切さを強調するとともに、独自の識字率向上プロジェクトを開発し、ロータリアンが世界で行う非識字根絶の取り組みについて広報する絶好の機会をロータリー・クラブと地区に与えるため、3月を識字率向上月間と決めました。

### 識字プロジェクトの実際例

- ※ライトハウス識字プロジェクト(Lighthouses Literacy Project)
- ※語学力集中研修講座(CLE: Concentrated Language Encounter)
- ※ボランティアとして教える
- ※職場で従業員を教育する
- ※学校を救う
- ※海外に書籍を送る
- ※「赤ちゃんのための本」を寄付する



### 「識字率向上は貧困の悪循環を断ち切るカギ」 シスター・エセル

(2006年6月12日・国際ロータリー年次大会基調演説より)



## マララ・ユスフザイ

パキスタンの女性人権活動家。1997年7月12日、北部山岳地帯のスワート地区(マラカンド県)に生まれる。2012年10月9日スクールバスで下校途中、武装集団に銃撃され重傷を負った。現地で弾丸摘出手術を受けた後、英国の病院に移送され、一命をとりとめたが、15歳の女子学生を狙い撃ちにしたテロ事件は、世界中に大きな衝撃を与えた。犯行声明を出した反政府勢力パキスタン・タリバーン運動(TPP)は、教育権を求める女性の「反道徳的」活動への報復であり、シャーリア(イスラム法)に基づくものとテロ行為を正当化している。

父親のジアウディンは私立学校を経営する教育者で、マララもこの学校に通い、医者を目指していた。同地はイスラム保守勢力が強く、07年にはTPPが政府から統治権を奪い、09年まで実効支配している。イスラム過激派のTPPは女性の教育・就労権を認めず、この間、200以上の女子学校を爆破したという。09年1月、当時11歳だったマララは、英BBC放送のウルドゥー語ブログに、こうしたタリバーンの強権支配と女性の人権抑圧を告発する「パキスタン女子学生の日記」を投稿。恐怖に脅えながらも、屈しない姿勢が多くの人々の共感を呼び、とりわけ教育の機会を奪われた女性たちの希望の象徴となった。同年、米ニューヨーク・タイムズも、タリバーン支配下でのマララの日常や訴えを映像に収めた短編ドキュメンタリーを制作している。11年には、パキスタン政府から第1回「国家平和賞」(18歳未満が対象)が与えられ、「国際子ども平和賞」(キッズライツ財団選定)にもノミネートされた。襲撃事件後、マララを称賛・支援する連帯の声は、世界中に広がっている。

## 例会記録 2014. 3.26(水) 通算1701回

ソング	「奉仕の理想」「四つのテスト」		
出席報告	3月15日	会員数49名 欠席者0名	出席率100% (この内出席免除者11名)
	3月26日	会員数49名 欠席者12名	出席率75.51% (この内出席免除者11名)



昼食  
(本日は馳走さんです)